

要望事項 (優先順位 1)

北白川小学校プールの濾過機老朽化に伴う問題について

要 旨

現在のプールは創立120周年の平成6年に竣工したと聞いておりますが、数年前より濾過機の老朽化に伴う運転音について、近隣から苦情が出ておりました。その対応のため、濾過機及び滅菌機(塩素注入機)は本来、24時間稼働させなければならないところ、今年度から午前8時～午後5時の稼働といった措置が採られ、8月からは濾過機の運転を停止せざるを得ない状態となりました。

地域では旧プール時代から毎年8月15・16日の2日間、お盆に帰省する小学校OBとその家族のために、地域恒例行事の一環として「プール一般開放事業」*を実施しております。しかし、今年度はこの濾過機の老朽化に伴う騒音問題により、事業の開催も考えなければならない事態になっております。

濾過機のメンテナンスは毎年実施されておりますが、設置から20年が経過し、近隣から苦情が出るほどの騒音であることから、老朽化による使用期限に達していると判断されます。

近隣の苦情による運転制限は一時的な回避措置ですから、根本的な問題解決として、静音タイプの新しい濾過機(滅菌機含む)に交換していただくことはもとより、機械室及び近隣との境界ブロック塀に防音壁を設置していただく必要があると思います。

以上、標記の件につきまして要望いたしますので、宜しくお取り計らいいただきますようお願い申し上げます。

※「北白川小学校プール一般開放事業」

昭和42年に竣工した旧プール時代から始まった地域恒例体育行事。共催は、体育振興会・下鴨少年補導委員会北白川支部・消防分団・子ども育成会・PTAの各種団体。

平成26年、主催団体を明確化して継続事業にしていきたい、とのPTAの要望を請け、今年度から「北白川小学校施設開放自主管理運営委員会」(委員長：堀内寛昭)が共催団体を統括して運営を行うこととなった。

**回 答
(教育委員会)**

本市の学校に設置されているプール濾過機については、昭和42年に設置されたものをはじめ、平成6年以前に設置されたものが数多く残っており、本市の厳しい財政状況からも、老朽化の対応としては、基本的に交換ではなく修繕で対応することとしております。

北白川小学校のプール濾過機については、既に学校から報告を受けており、騒音の発生源と考えられるモーターなどの部品の取替え等による修繕で対応するよう計画しているところでございます。

こうした状況を踏まえ、御要望のございました静音タイプの濾過機への交換、防音壁の設置については、困難な状況でございますが、御理解いただきますよう、よろしくお願いたします。